

# 「歯科医師による新型コロナワクチン接種のための筋肉内注射」実技研修

新型コロナウイルス感染症の早期収束のためワクチン接種が進められている中、その「打ち手不足」の解消に向け、先般、歯科医師の筋肉内注射が特例的に認められました。すでに実際に歯科医師がワクチン接種を行っている様子などが報道されているのはご承知の通りです。

その中でワクチン接種を行うには筋肉内注射について経験を有しているか、または必要な研修を受けることとされていますが、この度、ワクチン接種の実技研修が令和3年6月3日（木）・4日（金）に東京都看護協会で開催されました（主催：東京都看護協会、後援：東京都）。

本実技研修の参加対象者は、日歯生涯研修事業「Eシステム」（e-learning）により必要な教育研修を修了している方であり、今回は急な研修の実施となりましたが、周知期間がほとんどないような状況にも関わらず、2日間で181名の参加がありました。

研修当日は東京都看護協会の山元恵子会長の挨拶の後、筋肉内注射の手技の確認の動画視聴に引き続き、実技研修に移りました。

実技研修は6名一組になり、東京都看護協会危機管理室の看護師の指導のもと、筋注モデル（上腕部の筋注研

修用のダミー）を接種を受ける役の先生の腕につけ、ワクチン接種を立った状態や着座の状態など色々な状況を想定し交代で研修を行いました。

この筋注モデルは正しい部位に注射を行うと緑のランプの点灯があり、誤った部位に注射をすると赤いランプが点灯する優れた器材でした。

歯科医師によるワクチン接種は各自治体等からの協力要請があった場合の従事となりますが、本会としては会員の先生方に、今回の実技研修を通して接種者（打ち手）としての準備を整えて頂きたいと考えています。

なお、時期は未定ではありますが今後も実技研修は予定されています。開催日の予定が分かり次第、参加対象者に対し周知を行わせていただきますので、参加希望の方は、「Eシステム」での教育研修の修了をお願いします。

最後になりますが、今回の実技研修につきましては東京都看護協会のご厚意により受講料は無料となっている事を付け加えさせていただきます。

公益社団法人東京都歯科医師会

医療管理・調査担当理事 山口幸一



実習の様子



実習器材一式

※手袋：必ずしも必要ではない。手袋をした場合は、対象者ごとに外し、手指消毒をしたのちに新しい手袋を装着する（東京都看護協会「歯科医師会様 筋肉内注射実技講習」配布資料より）。